

ほっかいどう

6
月号

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

特集1

人口減少の進行の「緩和」と人口減少社会への「適応」

～「第3期北海道創生総合戦略」を策定しました～



北海道では、長期的な視点に立って切れ目なく人口減少対策を進めるとともに、近年の社会経済情勢の変化にも対応できるよう、令和7年3月に「第3期北海道創生総合戦略」を策定しました。この総合戦略のめざす姿の実現に向けて、次の2つの観点を設定し、取組の推進を図ります。

めざす姿 一人ひとりが豊かで安心して住み続けられる地域を創る

人口減少の進行の「緩和」

結婚や出産、子育ての希望をかなえるための環境の整備などをはじめとした自然減対策、若者や女性をはじめ、多様な人材を惹きつける地域づくりなど社会減対策の両面から、粘り強く継続的に取り組み、人口減少のスピードを「緩和」する観点。

人口減少社会への「適応」

現在より少ない人口でも、一人ひとりが幸せを実感でき、心豊かに安心して住み続けられる地域を創るとともに、活力ある社会・経済を構築することにより、人口減少社会に「適応」する観点。

特集を
動画で!

今号の速ヨミ!

今号の特集を動画で時間をかけずにチェックできる「速ヨミ!」。右下の二次元コードを読み取るだけで、いつでもどこでも北海道の「今」を知ることができます。音声付きなので文字が読みづらい方にもおすすめです。

動画は右の二次元コードから



北海道知事 鈴木 直道

地域の「力」を高め、北海道の創生に取り組み、エネルギー、食、観光資源といったポテンシャルを「形」にしてその価値を押し上げることで、道民の皆様の命と暮らしを守り、日本の未来を支え、世界の中で一層輝く北海道づくりを進めていきます。

特集2 令和7年度 北海道予算 重点政策のポイント

01

地域の発展と
安全な暮らしの
確保

02

産業の
活性化に向けた
ポテンシャルの
発揮

03

北海道の
未来を拓く
人づくり

広報紙
ほっかいどう
クイズ

特集1

人口減少の進行の「緩和」と人口減少社会への「適応」

特集2

令和7年度 北海道予算

広報紙「ほっかいどう」では、プレゼントが当たるクイズ企画を実施。問題は特集から出題します。右の二次元コードからアクセス!



WEB限定コンテンツ公開中!

広報紙
「ほっかいどう」
ウェブサイト



広報紙「ほっかいどう」が全国広報コンクールで
2年連続入選しました!

道民の皆様からのご意見をいただきながら魅力的な紙面づくりに取り組んでいます。引き続き、本紙をご愛読くださいますようお願いいたします。

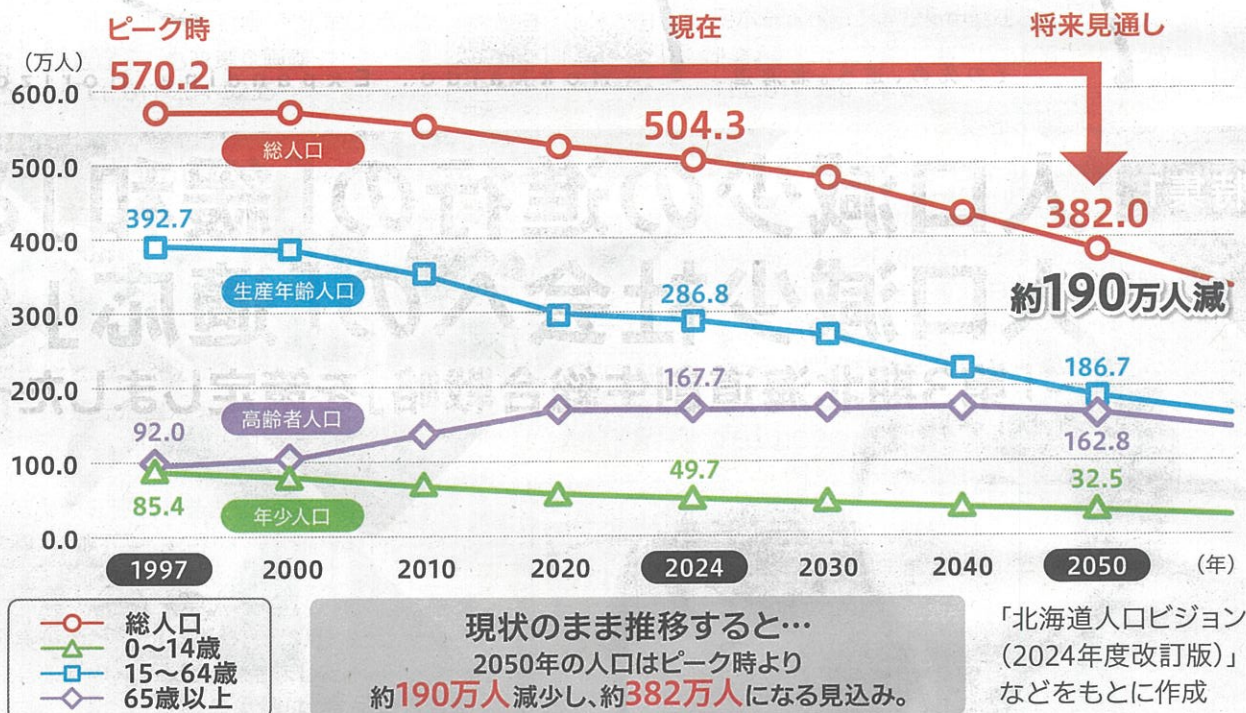
人口減少の進行の「緩和」と人口減少社会への「適応」

～「第3期北海道創生総合戦略」を策定しました～

北海道の人口推移と将来見通し

●本道の人口は、一時期を除いて、1990年代後半までは、人口増加が続いてきましたが、1997(平成9)年に約570万人に達して以降、減少に転じ、この間、道、市町村の連携した取組により、人口の増加や減少の緩和が見られる市町村もありますが、北海道全体としては、現在も全国を上回るスピードで人口減少が続いています。

●国の機関の推計では、2050(令和32)年の北海道の人口は、約382万人になると見込まれています。ピーク時と比較すると、その減少数は実に約190万人。これは、北海道内で最も人口の多い札幌市の人口に相当する規模になります。



今後も長期的に人口減少が見込まれる中、私たちは、この現実を直視し、危機感をもって人口減少問題に的確に対応する必要があります。

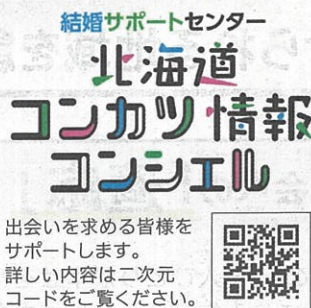
北海道は、「緩和」と「適応」の2つの観点により、対策に取り組んでいきます。

1

人口減少の進行の「緩和」

一人ひとりの希望をかなえる社会をつくる

- 結婚を希望する方への支援、結婚に伴う新生活への支援を行います。
- ICT技術を効果的に活用して、教育力を向上させるなど、学校教育の一層の充実を図ります。
- 地域と学校が連携・協働する体制をつくることで、社会で活躍できる力を育て、北海道の未来を創る人材を育成します。



地域の魅力を高め、地域への人の流れをつくる

- 北海道に関わるきっかけを提供し、将来的な移住者や関係人口が増えるよう取り組みます。
- 地域活性化に重要な存在である地域おこし協力隊の更なる確保と、任期後の定住に繋げるため、隊員の活動や市町村の制度活用を支援します。
- 外国人材が北海道で安心して働き、暮らすことができる環境づくりを進め、道内企業への就職を促します。
- ユネスコ世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」やアイヌ文化、赤レンガ庁舎など、北海道の自然・歴史や文化を発信し、地域の魅力の更なる向上を図ります。



2

人口減少社会への「適応」

安心して暮らせる豊かな地域をつくる

- 過疎地域等の買い物や通院などを支援する仕組みづくりや、人々のつながりを深める取組を進めます。
- 医療提供体制を整えたり、介護職員の労働環境を改善するなど、健やかに暮らせる医療・福祉の充実を図ります。



潜在力を活かした産業・雇用をつくる

- 魅力的で質の高い食の持続的な成長に向けた取組を進めます。
- 次世代半導体製造拠点やデータセンターなどのデジタル関連産業の集積を促進します。
- ものづくりや宇宙航空分野など、北海道の強みを活かした産業の創出・振興を図ります。
- 人手不足となっている産業や将来を見据えた産業など、様々な産業の担い手や人材の育成・確保に取り組みます。



多様な連携により地域の活力をつくる

- 企業・団体、個人に広く発信することで、北海道に対する応援の獲得に繋げる、多様な主体との連携体制をつくりまします。
- 行政サービスの提供体制を確保できるよう、市町村の枠を超えた連携による持続可能な地域づくりを進めます。



北海道は、豊富な食や観光の資源、再生可能エネルギーといった世界に誇るポテンシャルを有しています。こうしたポテンシャルを力に変え、人口減少下でも、魅力と活力のある地域を創り上げていきましょう。

「第3期北海道創生総合戦略」の詳しい内容は右の二次元コードをご覧ください。

北海道の創生に関する施策推進のための目標及び基本的方向などを位置づけています。



特集2 令和7年度 北海道予算

令和7年は、次世代半導体のパイロットラインの稼働やアジア最大級となるAIデータセンターの着工に加えて、政府の「GX2040ビジョン」に再生可能エネルギーの豊富な地域で産業集積を加速させる方針が示されるなど、北海道にとって大きなチャンスを迎えています。また、改正された食料・農業・農村基本法に基づく新たな「基本計画」に北海道が「主要穀物などの主産地」と明記されるなど、我が国の食料安全保障における北海道の役割はますます大きなものとなっています。こうした様々な動きを的確に捉え、政策を着実に推進していくため、次の3つの柱に基づき、重点政策をとりまとめました。

令和7年度 重点政策（主な取組）

01 地域の発展と安全な暮らしの確保

795.8 億円

災害の備えを強化
防災訓練や防災教育、避難所用備蓄資材の充実など
268百万円

ヒグマとの共存、被害の軽減
市町村のゾーニング計画策定、捕獲・出沒対策支援、人材育成など
124百万円

食と農業の魅力を発信
赤れんがガーデンでの都市と農村の交流イベントの実施など
19百万円

地域農業への支援
老朽化した共同利用施設の再編集約の支援など
18,053百万円

02 産業の活性化に向けたポテンシャルの発揮

272.1 億円

半導体の複合拠点を実現
人材育成体制の構築、産学共同研究の推進、教育研究拠点の整備など
508百万円

未来技術で地域課題を解決
未来技術を持つ企業と市町村のマッチングなど
25百万円

食と観光の魅力を発信
万博を契機とした、あべのハルカス・羽田空港等での食と観光のPRなど
23百万円

宿泊税導入に向けた理解の促進
事業者のレジシステム改修への支援、制度の周知・説明会など
1,206百万円

03 北海道の未来を拓く人づくり

542.9 億円

「こどもまんなか社会」の実現
道と市町村の子育て支援策の発信・強化、こどもの権利の周知など
26百万円

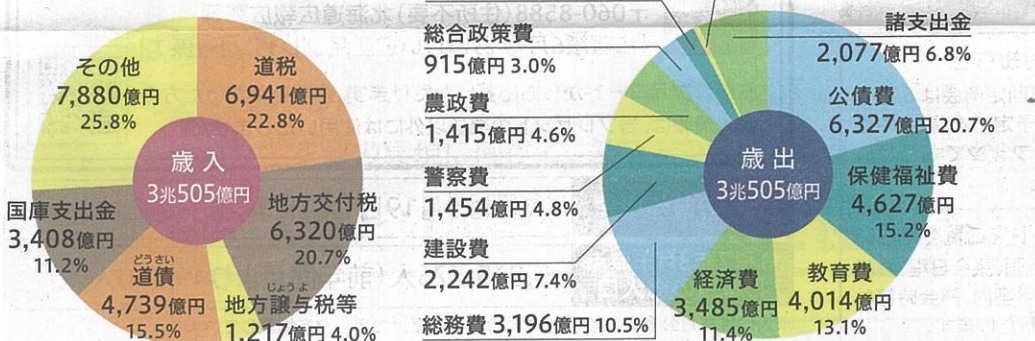
多様な働き手の就業を促進
潜在労働力の掘り起こし、簡易業務等の切り出しによる支援など
12百万円



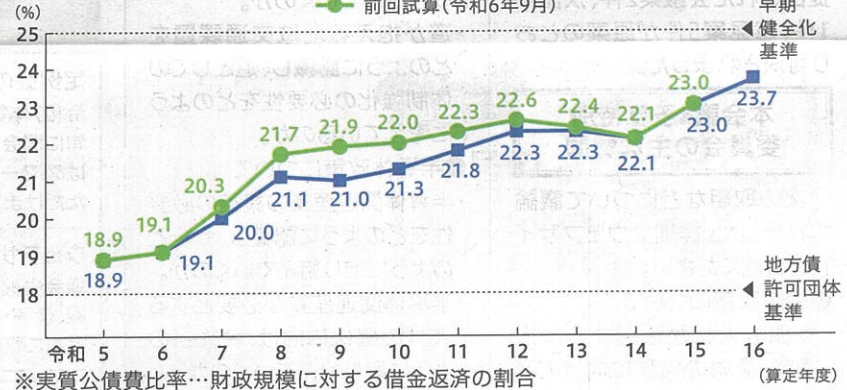
令和7年度 予算の概要

令和7年度予算は、昨年度と比較して290億円増の3兆505億円となりました（一般会計）。また、実質公債費比率は、減債基金への積戻しに取り組んだことなどにより、一定の改善が図られました。道財政は、今後も多額の収支不足額が見込まれるほか、金利の引上げや過去に発行した道債が償還時期を迎えることなどから、比率も高い水準で推移するなど、厳しい状況が続く見通しにあることから、引き続き、財政の健全化に向けた取り組みを進めていきます。

●歳入・歳出の構成



●実質公債費比率の推移

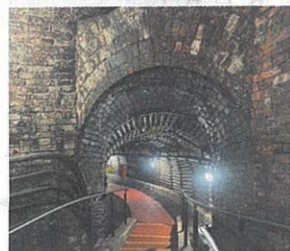


特集2に関するお問い合わせ／○令和7年度重点政策…道庁政策局 TEL.011-204-5106 ○令和7年度予算の概要…道庁財政課 TEL.011-204-5030

Pick Up! 地域情報

北海道の各地域から話題をお届けします。

夕張市 再開・模擬坑道！「夕張市石炭博物館」



石炭博物館は、石炭産業の歴史や産炭地の暮らしを今に伝える施設です。博物館の模擬坑道は、昭和14(1939)年に整備が始まり、「炭都・夕張」の象徴として親しまれてきました。平成31(2019)年に火災が発生し見学できない状態でしたが、より安全性を高める復旧工事を行い、令和7(2025)年4月、7年ぶりに再開しました。

お問い合わせ／夕張市石炭博物館
TEL.0123-52-5500



古平町 道の駅「ふるびらたらこミュージアム」



令和7(2025)年4月15日に道の駅「ふるびらたらこミュージアム」がオープンしました。コンセプトは、「非日常空間・エンターテインメント体験」。古平町のたらこの歴史や食体験、アート作品の展示などのサービスが展開され、「たらこ」の世界を体験できます。

お問い合わせ／ふるびらたらこミュージアム
TEL.0135-48-8131



第1回 北海道 豊かな海づくり大会

「守りめく 光輝く 豊かな海」

開催日
令和7年6月1日(日)

会場
・ウイングベイ小樽会場
・築港臨海公園
・小樽港第3号ふ頭会場

内容
・ニシンの放流
行事などの詳細は右下の二次元コードをご覧ください
・北海道の一次産業 連携による展示・物販、体験等
・官公庁船の一般公開

お問い合わせ／
道庁成長産業課
TEL.011-204-5469





北海道からのお知らせ

道庁からのお知らせなどをお伝えします。詳しくは、各ウェブサイトをご覧ください。

ハープライフル銃所持の特例

令和7(2025)年3月に銃刀法が改正され、ハープライフル銃を所持するには、原則、散弾銃を10年以上所持していることが必要となりました。ただし、被害を防止するためにエゾシカ・ヒグマ等を捕獲する場合は、特例として初年度から所持することができます。詳しくは、道のウェブサイトをご覧ください。

道庁野生動物対策課
TEL.011-204-5205



「北海道子ども基本条例」と「北海道子ども計画」

北海道のすべてのこどものみなさんが将来にわたって幸せな生活を送ることができる社会を実現できるよう「北海道子ども基本条例」を制定し、これまで大人が中心になって作ってきた社会をこどもまんなか社会へと変えていくため「北海道子ども計画」を策定しました。

道庁子ども政策企画課
TEL.011-204-5235



お米・牛乳子育て応援事業(第三弾)申請は6月30日(月)まで

道では平成18(2006)年4月2日～令和7(2025)年6月1日に誕生した子どものいる世帯に、5,240円相当分の道産の米と牛乳を購入できる商品券または電子クーポン、北海道米のいずれかを支給しています。該当する世帯は、専用ホームページ等から申請をお願いします。

北海道お米・牛乳子育て応援事業事務局コールセンター
TEL.011-350-8680



どうみんおでかけプレゼントキャンペーン実施中

道民限定の対象プランのご利用で、6,000円相当のギフトカタログなどが抽選で当たる「どうみんおでかけプレゼントキャンペーン」を7月21日(月・祝)まで実施しています。この機会にぜひおでかけしませんか。

道庁観光振興課
TEL.011-204-5303



登山や山菜採りで遭難事故に注意!

例年4月から6月にかけて、山奥で方向を見失ったり、滑落などにより負傷する遭難が多発します。入山する方は、十分な準備と慎重な行動を心掛けるとともに、ご家族の方は、行き先や帰宅時間、遭難防止の準備が十分かどうかを確認するなど、遭難を防止するための声掛けを行いましょう。

道庁危機対策課
TEL.011-204-5014



土砂災害に備えましょう

大雨のときや雪解けの季節はもちろんですが、地震で地盤が緩んでいるときは、少しの雨でも土砂災害の危険が高まるおそれがあります。もしものときを考え、日頃の備えや早めの避難を心掛けるようにしましょう。土砂災害のおそれのある区域などは「北海道土砂災害警戒情報システム」内で公表しています。

道庁河川砂防課
TEL.011-204-5560



道議会レポート

定例会の概要などをお伝えします。
令和7年第1回定例会(2/19～3/18)

定例会の概要

知事から道政執行方針の説明と、その中の政策を積極的に展開していくことを基本とした令和7年度当初予算ならびに令和6年度一般会計補正予算等の予算案34件と条例案32件、その他の案件9件が提案され、議決されました。

また、議員および委員会から提出された会議案2件、決議案1件、意見案5件が原案のとおり可決されました。

本会議・予算特別委員会の主な質問

次の取組などについて議論されました。詳細はウェブサイトをご覧ください。

- 農業政策について
- ・多様な人材が活躍する本道農業・農村の実現に向けてどのように取り組んでいくのか。
- ・主要穀物の主産地である北海道農業の持続可能な発展に向けてどのように取り組んでいくのか。

- 子ども施策について
- ・こどもまんなか社会実現のため、子どもたちの意見をどのように聴取し、反映させていくのか。
- ・体験活動を行うことが難しい子どもへの支援について今後どのように取り組んでいくのか。
- 観光政策について
- ・魅力ある地域資源を活かした観光振興についてどのように取り組んでいくのか。
- ・道が抱える地域交通課題をどのように認識し、道としての体制強化の必要性をどのように考えているのか。
- 半導体政策について
- ・半導体関連産業の集積の必要性をどのように認識し、今後どのように取り組んでいくのか。
- ・半導体関連産業が必要とする人材の確保に向け、今後どのように取り組んでいくのか。

「北海道食品ロス削減推進条例」を制定

定例会招集日の2月19日に

全会派の議員が共同して提出し、最終日の3月18日に全会一致で可決しました。

この条例は、食品ロスの削減を総合的に推進することを目的としています。



定例会のお知らせ

令和7年第2回定例会は6月中旬に開会の予定です。議会中継はスマートフォンでもご覧いただけます。

ウェブサイトをご覧ください

議会中継・録画、議会日程、会議録、傍聴・見学案内、議会時報などをご覧ください。

北海道議会

検索



議会事務局
政策調査課
TEL.011-204-5691

抽選で20名様に当たる!

おいしい道産品プレゼント

JA新しのつ
「新しのつ米 ななつぼし 2kg」

ほどよい粘りと甘みでつやもよく、味と食感のバランスに優れたお米で、冷めてもおいしいのが特徴です。

応募期限/6月30日(月)必着

応募方法

本紙へのご意見・ご感想(今回の掲載内容について)、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。

応募先

〒060-8588(住所不要)北海道広報広聴課
「広報紙6月号 おいしい道産品プレゼント」係

右の二次元コードからも応募いただけます。応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。



次号のお知らせ

次号は6月19日(木)に配布予定です

令和7年3月末時点
北海道の総人口

5,015,776人(前年同月より49,330人減)

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。



この広報紙は
環境に優しい
植物性インキを
使用しています。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

広告掲載を希望される場合は、道庁広報広聴課へお問い合わせください。

発行/北海道総合政策部知事室広報広聴課 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL.011-204-5110 FAX.011-232-3796

O.tone × OI

北海道39の ブルワリー探訪

北海道のクラフトビールの魅力を知る一冊。

北海道の39の ブルワリーを一挙掲載!!

札幌・函館・旭川
クラフトビールがうまい店



北海道ビールの 歴史

国産初のビールから地ビール、
クラフトビールへ

北海道クラフト
ビールの
来た道・行く道

ビール好きと
道産品好き
必携!

北海道ブルワリー
定番スタイルカタログ

広告



北海道のブルワリーを巡る
CRAFT BEER
クラフトビール

A4判/140ページ
1,650円(本体1,500円+税)
JP01ゼロワンショップ・
Amazon等で販売中



北海道ブルワリー巡る

検索

●発行元 総合商研株式会社
●TEL 011-223-2111

※この広告は、広告主の責任において掲載しております。